



# 有限会社三陽

業種	サービス業	事業所所在地	熊本県合志市	資本金	4,000千円
					4名

 	被承継者（左）		
	野口 正一	64歳	※承継時
承継者（右）			
	野口 真悟	38歳	※承継時
事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係	
2019年8月		子ども	
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題	
自動車販売修理業		新商品新サービスの開発	近隣では同業者も多く、いかにして自社の顧客を増やしていくか課題であった。他社では大型車に対応する設備を設置しているところがなく、他社に先駆けて整備士が快適安全に使用でき、作業効率がアップするようなリフトを導入し、特に若年層に目を向け新たなサービスで新規客を取り入れ、売り上げ向上に繋げたい。

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 3年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
今までの当社のリフトでは乗用車までしか持ちあがって作業ができず、建設工事や復旧工事に使用される2 t以上の大型車両には対応できなかった。そのため入庫依頼があっても断っていた。今回の補助事業で最新のリフトやジャッキが導入できれば大型車両のタイヤ交換や整備も作業を可能にする。新設備にすることで安全性も高くなり整備士の作業効率も良くなる。作業効率が良くなれば1台でも多くの入庫が期待できる。	永年ご最員にしてくれている顧客も高齢化し、車の免許を返納する人も増えてきたことで売り上げにも影響が出てきた。これからは承継者の年齢が若くなることを活かし、若い世代へのアプローチを実施していく。そのためにまずは新設備を導入したい。	土地建物・長期借入金の継承など被継承者で未解決のままの課題があること。今後安定した売り上げで収益が確保できていくかということ。
	関係者との調整	
	社内会議で意見が一致し、導入を決定。必要資金を試算した。業者に相談し、機械導入について最新の情報やアドバイスをあり、当社に見合ったリフトを設置することに決定した。	土地の名義の早急解決、建物の老朽化に大きな資金が必要なこと。これからは経営管理など全般を通して会社を見ていかなければならないことへの不安。

これに一番苦労した！
親子間、取引先やお客、従業員との関係や事業承継への理解には心配する要素はなかったが、親戚間において事業承継への理解、会社を運営してきたことがないため、経営力が十分に足りているか不安であった。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
合志市商工会	当社が売上減少で悩み、何か業績回復の方法はないものと商工会に相談した。ちょうど承継を考えていた時期でもあったので、事業承継補助金の説明を受けるきっかけとなった。補助金の申請について詳細な支援を受け、設備の導入、経営革新のやり方、など助言を受けた。
いつから相談？	
承継実行の 1年前	
相談のきっかけ	
以前から取引や付き合いがあった	

## 経営革新等に係る取組の標題

### 大型車両まで対応可能にする設備導入で新規顧客層の獲得

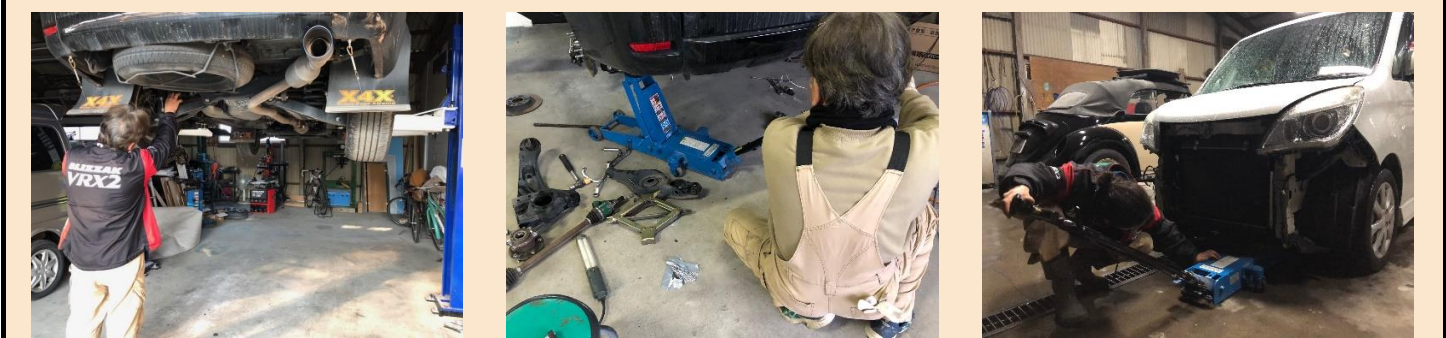
経営革新等に係る取組の内容	新役務の開発又は提供
---------------	------------

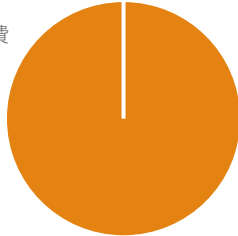
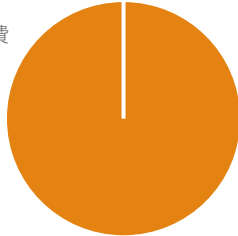
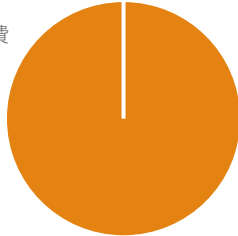
●自動車整備業の動向として、車輛の性能向上で修理や整備作業の減少による市場の縮小や、当社の周辺地域には同業者が数多く存在している状況の中、人口減少でさらに少なくなる顧客の確保が課題だった。しかも、お客様の高齢化に伴って免許返納が増えたことも売上減少の一因となり、事業の継続のためにも若年層の顧客を増やし売上を確保しなければならないと考えていた。また、熊本地震の際には、災害に関連した作業依頼を受けた車輛に対して当社の設備では対応できずにお断りすることがあったため、地域貢献の面で災害時に協力できなかったことに対して、社員一同歯がゆい思いを感じていた。

●そこで、安心して任せてもらえる体制を作り、今後の災害時にも対応可能な企業体制を整えることで地域貢献の面でも強化をはかる計画を立てた。

●そのため、新たにリフトとジャッキを導入して、これまで時間がかかる作業ややむなく断らなければならない車種の整備などにも対応できるよう機械設備を充実させ、作業の効率アップとお客様に安心して任せてもらえるために知識・技術の向上にも積極的に取り組む。

●将来の展望としては、店舗内や展示場のレイアウトや接客サービスを充実させ、ワンランクアップした店舗・展示場に改修していく。そして、地域や顧客に寄り添ったサービスを提供することで「三陽で良かった」と言ってもらえるファンを増やすため、日々企業努力を続けていく。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳		
近隣他社整備工場にはない4 tクラスの車両をリフトアップし整備できる。顧客はもとより急な車両トラブルで通りがかりのお客にも対応できる。他社との競争においても優位である。より多くの車種に対応できることで認知度向上、業界の地位向上となる。	<table border="1"> <tr> <th>経費の主な使い道</th> </tr> <tr> <td> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">■ 設備費</div>  </div> <p>設備費（門型2柱リフト、2 t低床型エアジャッキ導入費）</p> </td> </tr> </table>	経費の主な使い道	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">■ 設備費</div>  </div> <p>設備費（門型2柱リフト、2 t低床型エアジャッキ導入費）</p>
経費の主な使い道			
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">■ 設備費</div>  </div> <p>設備費（門型2柱リフト、2 t低床型エアジャッキ導入費）</p>			

認定経営革新等支援機関の名称：合志市商工会			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施

本補助金の活用を勧められ、事業計画、申請書の作成など何度も丁寧なアドバイスを受けた。

今後に向けて～次の目標	
2019年から2022年に向けて	受け入れができなかったお客様にリフト導入を知らせると再び入庫の依頼があった。従業員も姿勢に無理なく快適な作業ができ作業効率がアップした。
売上高 130 %UP	

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
売り上げや顧客を増やしていくことは当然のことであり、忘れてならないことは初心忘るべからずである。従業員やお客の身になって愛される会社作りをしていってもらいたい。これから承継を考えておられる方は、商工会などの機関によく相談して、知らなかったということがないよう、コミュニケーションを取りながら慎重に進めた方がいいですよ。	事業承継を代表者の変更など書面で片付くものだと簡単に捉えていました。しかし商工会の事業承継セミナーや、様々な方のご指導をいただき、私自身の将来的計画の甘い部分があった会社経営はもちろん、家族や従業員、会社関係者そしてお客様についてより建設的に考えさせられることとなりました。これから経営者としての努力がまだまだ必要ですが、それがいままです。